

第2学年 国語科 年間学習指導計画

| 学期 | 月 | 単元名 | 教材名(小単元) | 目標 | 配時 | | 評価 | | | | | 言語活動 <言語活動例> | |
|----|----|------------------|----------------|--------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|--|---|
| | | | | | 教材 | 単元 | 関意 | 話聞 | 書く | 読む | 言語 | | 評価規準 |
| 1学 | 4月 | 1 こえに出して読もう | 風のゆうびんやさん | ・はっきりとした声で、すらすらと声に出して読む。 | 10 | | ○ | | | | | 【関】物語を楽しんで、声に出して読もうとする。 【読】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。 | 本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア |
| | | | としよかんへいこう | ・図書館の利用の仕方を知り、本を読む。 | 1 | | ○ | | | | | 【関】図書館の利用の仕方を知り、本を読もうとする。 【読】図書館の利用の仕方を知り、進んで本を選んで読んでいる。 | 本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア |
| | | | かん字のかき方に気をつけよう | ・漢字の書き方と画数について理解することができる。 | 3 | | ○ | | ○ | | | 【関】漢字の筆順や画数に興味を持って、漢字の学習に釣り組もうとしている。 【言】漢字の筆順と画数について理解している。 | |
| | | | こんなことがあったよ | ・毎日の生活をふり返り、友達に伝えたい出来事を見つけて書くことができる。 | 4 | | ○ | | | ○ | | 【関】経験した出来事を伝えることに関心を持ち、進んで書こうとしている。 【書】毎日の生活の中で経験したことの中から、書いて伝えたいことを選んでいく。 | 生活の中の出来事を文章に書く。B(1)ア |
| | 5月 | 2 たんぽぼのひみつを見つけよう | たんぽぼ | ・順序に気をつけて読み取る。 | 12 | | ○ | | ○ | ○ | | 【関】たんぽぼについての情報を自分の知識や経験と結び付けながら読み、進んで発見したことや感想を出そうとする。 【読】たんぽぼの仕組みや仲間の増やし方について、事柄の順序に気をつけて正しく読み取っている。 【書】たんぽぼの仲間の増やし方を、適切な言葉を使い、言葉と言葉の続き方に気をつけてまとめている。 | 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読む。C(2)ウ 身近な事物を簡単に説明する文章などを書く。B(2)ウ <ひみつカード> |
| | | | かたかなで書くことば | ・片仮名で書く言葉についてまとめ、正しく使う。 | 3 | | ○ | | | | ○ | 【関】片仮名表記の言葉に関心を持ち、集めたり書いたりしようとする。 【言】片仮名表記の言葉にどのようなものがあるか知り、正しく表記している。 | |
| | | | ことばで絵をつたえよう | ・大事なことを落とさずに順序よく説明する。 | 5 | | ○ | ○ | | | ○ | 【関】絵の描き方を言葉で正しく伝えようとする。 【話聞】説明の順序を考えながら、絵の形や位置、大きさなどを話している。 | 自分の描いた絵を相手に伝えるように順序よく説明する。☆ |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|-----------------|----------------------|--|----|----|---|---|--|---|--|--|---|---|--------------------------------------|
| 期 | | かんさつしたことを書こう | ・観察して、気づいたことをくわしく書く。 | 5 | | ○ | | ○ | | ○ | 【関】興味を持って観察し、観察したことを記録しようとする。 【書】観察したことを、横書きの形式で、様子を説明する言葉や表現を使って書いている。 | 観察したことを記録する文章などを書く。B(2)イ | | | |
| | 6月 | 3 ばめんごとに読もう | お手紙 | ・場面ごとに人物のしたことや気持ちに気をつけて、お話を読む。 | 13 | | ○ | | | ○ | ○ | 【関】人物の行動や気持ちに気をつけて、お話を読もうとする。 【読】場面について理解し、登場人物の行動に即して物語を読んでいる。 | 本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア ＜登場人物への手紙＞ | | |
| | | | まよい犬をさがせ | ・必要なことを落とさないように聞いて、メモを取る。 | 4 | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 【関】メモの大切さを知り、大事なことを落とさずに聞こうとする。 【語聞】大事なことを落とさずに聞き、短い言葉でメモに取っている。 | 必要なことについて身近な人と連絡をし合う。A(2)ウ | |
| | 7月 | 4 二つのせつめいをくらべよう | ふろしきは、どんなぬの | ・二つの説明の文を比べて、違いを考える。 | 12 | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 【関】説明の仕方の違いに興味を持って読もうとする。 【読】説明の仕方の違いをとらえながら、二つの文章を読んでいる。 【書】「問い」と「答え」の構成に気をつけて、つながりのある説明の文章を書いている。 | 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読む。C(2)ウ ＜おすすめカード＞ | |
| | | | 主語とじゅつ語に気をつけよう | ・主語と述語の働きを理解し、主語と述語の照応した正しい文を書くことができる。 | 3 | 29 | | ○ | | | | ○ | ○ | 【関】主語と述語の働きに興味を持ち、自分が文を書くときに生かそうとしている。 【言】文の中の主語と述語の照応関係を理解している。 | |
| | | | じゅんじょよく書こう | ・簡単な構成を考え、文章を書いて読み返し、間違いに気づいて直すことができる。 | 10 | | ○ | | | | ○ | | | 【関】心に残っている出来事について文章を書いて伝えることに関心を持ち、事柄の順序や構成を考えて書こうとしている。 【言】「始め」「中」「終わり」や経験した出来事の順序など、文章の構成を考えている。 | 心に残っている出来事について文章を書いて友達や家の人に伝える。B(1)ア |
| | | | 本は友だち | ・読書の楽しさを理解し、自分の興味に合わせて本を選んで読む。 | 4 | | ○ | | | | ○ | ○ | 【関】読みたい本を探し、興味を持って本を読もうとする。 【読】自分の興味に合わせて、読みたい本を選び、楽しんで本を読んでいる。 | 「二年生の本だな」や「きっとあるきみの心にひびく本」を参考に楽しんで本を読む。C(2)ア | |

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----------------------|---------------------------|---|----|----|---|--|--|---|---|--|---|
| 9月 | しを読もう | いろいろなおとのあめ 空にぐうんと手をのびせ | ・詩を声に出して読み、言葉の響きを楽しむ。 | 4 | 3 | ○ | | | ○ | ○ | 【関】詩を声に出して読み、言葉の響きを楽しもうとする。 【読】言葉の響きやリズムを楽しみながら、声に出して詩を読んでいる。 | 音の響きを楽しんだり、想像を広げたりしながら、詩を読む。☆ |
| | — | たからものを しょうかいしよう | ・宝物を紹介するために、話す事柄を考えて、順序よく話すことができる。 ・宝物について話し手が伝えたい大事なことを落とさないように、興味を持って聞くことができる。 | 7 | — | ○ | | | ○ | ○ | 【関】宝物を紹介し合うことに興味を持ち、自分の宝物について進んで伝えようしたり、友達の話に興味を持って聞こうしたりしている。 【話聞】「始め」「中」「終わり」の組み立てで、話す順序立てて話している。 | 宝物について紹介したり、紹介を聞いたりする。A(1)イ |
| | — | 声に出してみよう | 音節と文字との関係や、アクセントによる言葉の違いについて理解することができる。 | 3 | — | ○ | | | | ○ | 【関】音節と文字との関係やアクセントによる言語の違いに興味を持ち、身の回りから言葉を集めたり、集めた言葉を分類したりしようとしている。 【言】音節と文字との関係やアクセントによる言葉の違いを理解して言葉を分類している。 | |
| | — | 言いつたえられているお話 をしよう | ・神話や伝承を聞いたり、自分で読んだりし、おもしろかったところを友達に発表し合おう。 | 6 | — | ○ | | | ○ | ○ | 【関】お話の好きなところを進んで発表しようとする。 【読】読んだお話の好きなところを紹介している。 【言】神話や伝承を聞いたり読んだりして親しみ、おもしろかったところを友達に発表している。 | 読んだ本について、好きなところを紹介する。C(2)オ |
| | — | 「ありがとう」を つたえよう | ・伝えたいことを簡単な手紙に書く。 | 4 | — | ○ | | | ○ | ○ | 【関】相手を決め、感謝の気持ちを伝える手紙を書こうとする。 【書】相手のことを考え、気持ちや伝えたいことが伝わるように気をつけて手紙を書いている。 | 伝えたいことを簡単な手紙に書く。B(2)オ |
| 10月 | 1 声やうご きであらわそ う | 名前を見てちょう だい | ・場面に気をつけて、人物の様子や気持ちを読み取る。 | 15 | | ○ | | | ○ | ○ | 【関】人物の様子や気持ちに気をつけて物語を読もうとする。 【読】場所や人物の行動を手がかりに、場面ごとに、人物の様子や気持ちを読み取っている。 【読】文章の中の大事な言葉や文を書き抜いている。 | 本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア 物語を演じる。C(2)イ ＜音読発表会＞ |
| | | | | | 24 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|-------------|---------|---------------------------------|-----------------------------------|---|----|---|---|---|--|--|
| 2 学 期 | 11 月 | 2 どうぶつ のひみつを みんなでさく ろう | 絵を見てお話 を作ろう | ・絵から想像を広げて、 お話を書く。 | 9 | ○ | ○ | ○ | 【関】3枚の絵から場面を想像して、お話 を作ろうとする。 【書】それぞれの場面について想像を広 げ、登場人物の行動や会話が分かるよう にお話を書いている。 | 想像したことなどを文章に書く。B (2)ア <絵本づくり> |
| | | | ビーバーの大 工事 | ・大事な言葉を探しなが ら、順序に気をつけて読 み取る。 | 18 | ○ | ○ | ○ | 【関】動物の生態に興味を持ち、進んで本 を読んで調べようとする。 【読】順序に気をつけて、どこに何が書い てあるかを確かめながら読み取ってい る。 【書】説明文を読んだり本を読んで調べた りしたことから、取り上げる事柄を選び、 文の意味が明確になるように書してい る。 | 事物の仕組みなどについて説明し た本や文章を読む。C(2)ウ 身近な事物を簡単に説明する文章 などを書く。B(2)ウ 紹介したいことをメモにまとめたり、 文章に書いたりする。B(2)エ <どうぶつのひみつクイズ> |
| | | | なかまになるこ とばをあつめよ う | ・仲間になる言葉に関心 を持ち、言葉を集めたり 分解したりする。 | 3 | ○ | | ○ | 【関】仲間になる言葉に関心を持ち、言葉 を集めようとする。 【言】言葉の類別や仲間になる言葉につ いて理解している。 | |
| | | | あそびのやくそ くを話し合おう | ・一つの話題について、 知りたいことを尋ねて話 し合う。 | 7 | ○ | ○ | ○ | 【関】宝物について話し合う活動に興味を 持ち、尋ねたり応答したりしようとする。 【話聞】宝物について知りたいことを質問 したり、友達の話をよく聞いたりしながら、 話題に沿って話し合っている。 | 尋ねたり応答したりする。A(2)イ 知らせたいことなどについて身近 な人に紹介したり、それを聞いたり する。A(2)エ |
| | | | 名人をしょうか いしよう | ・書く事柄を整理して、紹 介したいことが伝わるよ うに「名人しょうかいカ ード」を書き、友達と読み 合って感想を伝え合うこ とができる。 | 12 | ○ | ○ | | 【関】身の回りの名人を紹介し合うことに 関心を持ち、名人について進んで文章を 書こうとしている。 【書】名人について紹介したいことを、内 容のまとめりごとに分け、書く順序を考え ている。 | 身の回りにはいる名人について「名 人しょうかいカード」を書く。B(1)イ |
| 12 月 | | かさこじぞう | ・おもしろさを見つけなが ら、いろいろな昔話を読 む。 | 16 | ○ | ○ | ○ | 【関】いろいろな昔話を興味を持って読も うとする。 【読】昔話のおもしろさを知り、楽しんで読 むために本を選んで昔話を読んでいる。 【書】自分が昔話でおもしろいと思ったと ころを書いて伝えている。 | 本や文章を楽しんだり、想像を広 げたりしながら読む。C(2)ア 読んだ本について、好きなところを 紹介する。C(2)オ 紹介したいことをメモにまとめたり、 文章に書いたりする。B(2)エ 伝えたいことを簡単な手紙に書く。 B(2)オ <読書ゆうびん> | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--------|----------------------|---------------------------------------|--|---|----|---|--|--|---|--|--|--|
| 3 学期 | 1 月 | 3 むかし話をしよう しよう | おくりがなに気をつけよう | 送り仮名について理解し、送り仮名に注意しながら正しく漢字の読み書きをする。 | 3 | ○ | | | | ○ | 【関】漢字の読み方と送り仮名の関係に関心を持ち、いろいろな漢字について調べようとする。 【言】送り仮名の役割を理解し、言葉の意味に気をつけて漢字を正しく読んだり書き表したりしている。 | | |
| | | | 心がうごいたことを | ・心が動いたときのことを思い出して、詩を書く。 | 6 | 38 | ○ | | | ○ | 【関】心が動いた出来事を詩で表現することに興味を持ち、意欲的に詩を書こうとしている。 【書】生活の中から心の動いたときのことを想起し、詩の題材を選んでいる。 | 詩を書いて友達と読み合う。 | |
| | | | おばあちゃんに聞いたよ | ・昔から伝わるいろいろな昔話を読む。 | 6 | | ○ | | | | ○ | 【関】昔から伝わるいろいろな言い方に興味を持ち、楽しんで音読しようとする。 【言】昔から伝わるいろいろな言い方について知り、リズムや調子のよさを体感している。 | |
| | | | 同じところ、ちがうところ | ・二つの物を比べて同じところと違うところを見つけ、それぞれを整理して文章に書く。 | 4 | | ○ | | | ○ | 【関】身近にある2つの物を比べて分かったことを文章に書くことに関心を持ち、進んで取り組もうとしている。 【書】同じところと違うところについて、説明のまとまりや順序を考えている。 | 2つの物を比べて分かったことを文章に書く。B(1)イ | |
| | | | はんたいのいみのことば | ・反対の意味を表す言葉に関心を持ち、言葉を集めたり分類したりする。 | 3 | | ○ | | | | ○ | 【関】反対の意味を表す言葉に興味を持って、身の回りから言葉を探そうとする。 【言】言葉の意味を理解して反対の言葉を集めている。 | |
| | | あなのやくわり | ・文章から読み取ったことをもとにして、身近にある穴の役割について説明する。 | 14 | | ○ | | | | ○ | 【関】身の回りの物にあいている穴の役割に興味を持ち、「あなのやくわり」を読んで、穴があいている理由を考えようとしている。 【読】文章の内容と自分の経験を結びつけながら読み、穴の役割についての自分の考えをまとめて、発表し合っている。 | 読み取ったことをもとにして、考えたことを文章に書く。C(1)オ | |

| | | | | | | | | | | | | |
|----|-------------------------|------------------------|--|----|----|---|---|---|---|---|--|--|
| 2月 | 4 あなたのや くわりを考え よう | 組み合わせた ことばをつかお う | ・複合動詞の構成や意味 を理解することができる。 | 3 | 28 | ○ | | | | ○ | 【関】複合動詞に関心を持ち、身の回りで 使われている複合動詞に目を向けようと している。 【言】複合動詞の構成と意味を理解して いる。 | |
| | | 「おもちゃ教室」 をひらこう | ・聞く人によく分かるよう に、順序よく説明する。 | 11 | | ○ | ○ | ○ | ○ | 【関】おもちゃの作り方や遊び方が聞き手 に伝わるように説明しようとする。 【話聞】分かりやすい説明の順序を考え たり、相手の様子を見ながら、話す内容 や話し方に気をつけて説明したりして いる。 【書】説明することがよく分かるように、語 と語や文のつながりに気をつけて文章を 書いている。 | 事物の説明をしたり、それらを聞いて 感想を述べたりする。A(2)ア グループで話し合っって考えを一つ にまとめる。A(2)イ | |
| 3月 | 5 紙しばい をしよう | ニャーゴ | ・場面に気をつけて、読 み取った人物の様子や 気持ちが伝わるように紙 芝居をする。 | 17 | 25 | ○ | | ○ | ○ | ○ | 【関】読み取ったことを紙芝居発表で表現 しようとする。 【読】場面の様子と人物の気持ちを想像し ながら読んでいる。 【書】自分の考えが伝わるように感想を書 いている。 | 本や文章を楽しんだり、想像を広 げたりしながら読む。C(2)ア 物語を演じる。C(2)イ ＜ニャーゴ紙しばい＞ |
| | | 「ことばのアル バム」を作ろう | ・これまでに書いた文章 や詩を読み返し、1年間 の思い出を文章や詩に 書く。 | 8 | | ○ | | ○ | ○ | ○ | 【関】これまで書いた文章や詩を読み返 し、「思い出ブック」を楽しんで作ろうとす る。 【書】心に残っていることが伝わるように、 様子を詳しく書いたり、気持ちが表れる言 葉を選んだりして文章を書いている。 | 心に残っていることが伝わるように 様子や気持ちを詳しく書く。☆ 「思い出ブック」を読み合い、よいと ころを見つけて感想を伝え合う。☆ ＜思い出新聞＞ |